

平成23年度 第1回 鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会 会議録

- ◇ 日 時：平成23年7月28日（木）13時30分～14時30分
- ◇ 場 所：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 4階 会議室
- ◇ 出席者：下記名簿のとおり

○鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会委員（敬称略）

号	会長等	氏名	役職等	出欠
1	会長	中井 愷雄	鎌ヶ谷市医師会顧問	出席
		石川 広己	鎌ヶ谷市医師会副会長	欠席
		尾崎 隆	船橋歯科医師会副会長	出席
2	副会長	藤木 哲郎	習志野健康福祉センター長	出席
3		福島 節子	船橋市栄養士会会長	出席
		小倉 一哲	鎌ヶ谷市料飲組合連合会会長	欠席
		和田 洋子	鎌ヶ谷市食生活改善協議会会長	出席
		菅村 恵子	鎌ヶ谷市保健推進員協議会代表	出席
4		望月 忠	鎌ヶ谷市こども課長	出席
		松岡 康太郎	鎌ヶ谷市学校教育課長	出席

○事務局

氏名	職名
福留 浩子	健康増進課長
鈴木 恵子	健康増進課補佐
生原 弘子	健康増進課副主幹
西山 珠樹	健康増進課副主幹
佐藤 太郎	健康増進課予防係長
太田久美子	健康増進課主査
舟波 早苗	健康増進課主任保健師

◇ 会議の議題

「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について

1. 会長挨拶
2. 委員自己紹介
3. 会議録署名人の選任 事務局一任により「尾崎委員」、「藤木委員」となる。

鎌ケ谷市健康づくり推進協議会設置要綱第6条の規定により、会長が議長となり議事进行处理する。

(会長) それでは本日の議題は1件でございます。「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況についてですが事務局ご説明をお願いします。

(事務局) 「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」について説明させていただきます。今までの経過といたしまして、第一次計画は、平成14年度からスタートし、平成17年度の間評価を経て、平成22年度をもって終了したところでございます。この第一次計画は国の「健康日本21」をお手本とした形で構成しておりましたので、健康づくり領域は栄養から母子保健まで10項目ございました。10項目めの母子保健に関しては、鎌ケ谷市母子保健計画と、このいきいきプラン健康かまがや21と一緒に推進してきたところでございます。この程、母子保健計画の最終評価がまとまりましたので後ほどご紹介いたします。

このように第一次計画が終了し、この度あらたに第二次計画が、スタートしたところです。この計画の位置づけですが、鎌ケ谷市総合基本計画、後期基本計画の基本目標で「健康で生きがいのある福祉学習都市を目指して」における政策の中の「誰もが健康に暮らせる生涯福祉の社会をつくり出す」の政策のうちの健康を支える保健医療の充実の政策の行動計画として位置づけられています。この第二次計画の構成は、第一次計画の見直しを行い、10項目あった「健康づくり領域」を5つに絞り、1番：栄養・食生活、2番：身体活動・運動、3番：休養・こころの健康づくり、4番：歯と口の健康づくり、5番：疾病予防の5本の柱を中心に組み立ててあります。また、それぞれの領域には、重点対策があります。期間は平成23年度から平成32年度までの10年となっております。併せて、食育推進計画をスタートさせましたので、最初の5年間は両計画を同時進行で推進していきます。

計画全体の評価をするための保健目標ですが、平成22年までのデータをもとに、最初の測定値を把握し、平成32年度の計画終了時、最終評価を行い、計画の進捗状況を測っていきます。

5つの「健康づくり領域」の重点対策としては、①「栄養・食生活」は食育の推進、②「身体活動・運動」は気軽に日常生活で運動をする環境づくりの推進ときらり鎌ケ谷体操の普及啓発、③「休養・こころの健康づくり」は親と子のふれあいを大切にする活動の推進と自殺予防対策、④「歯と口の健康づくり」は永久歯のむし歯と歯周病予防の推進、口からはじめる「食育」の推進、⑤「疾病予防」は生活習慣病予防の推進（主に特定健康診査、特定保健指導を中心としたもの）及び、感染症予防の推進となっております。

また、市民に広く計画を知っていただくためにウォーキングマップを作

成いたしました。表面はウォーキングマップで第一次計画からのものを使用し、裏面に第二次計画について書かれています。今年度は市制40周年記念事業ということで、ウォーキング事業を行い、その際も配布する予定です。

次に平成23年度の推進計画についてですが、お手元の「第二次いきいきプラン、健康かまがや21平成23年度の推進計画」をご覧ください。平成23年度より各領域の重点対策について書いてあります。ここで、特にご報告したいのは、この健康づくり推進協議会の下に設置した「食育推進部会」と「歯と口の健康づくり推進部会」です。

それでは、「歯と口の健康づくり推進部会」について、部会長より説明お願いいたします。

(尾崎委員) 歯と口の健康づくり推進部会についてですが、7月に第1回が開かれ、出席者は14名でした。第1回の概要として①委員の紹介②部会長の選出があり、私が部会長に選出されました。③鎌ヶ谷市の歯科保健状況について④鎌ヶ谷市のむし歯の有病状況について⑤鎌ヶ谷市歯周疾患健診について⑥カミング30について、報告がありました。今後10年にわたって検討していく大きな柱になるのではないかと考えております。今年度は、あと2回の開催を予定しています。

(事務局) では次に、「食育推進部会」について部会長より説明いたします。

(和田委員) 第1回食育推進部会は5月に開かれ、①委員の自己紹介②部会長の選任③平成22年度に食育推進計画が策定され食育推進部会が設置された経緯についての確認④食育推進部会の今後の計画について⑤事務局よりトマト料理コンクールのレシピ募集についての協力依頼があり、小中学校・保育園において保護者に応募用紙を配布することとなりました。

また、8月19日食育講演会、平成22年度及び23年度にかかる分野別の食育関連事業の把握についての説明があり、各分野における食育の推進についての意見交換等が自由に行われました。

第2回食育推進部会は、7月6日に開催されました。第2回より、小中学校PTAの代表、公募市民委員の方が加わり、体制が強化され、平成23年度食育推進関係部会の事業計画(案)についての説明がありました。

今後の予定と食育講演会、トマト料理コンクールの詳細につきましては、事務局より説明申し上げます。

(事務局) 食育推進部会の予定ですが、今年度は計画表に沿ってすすめていく予定です。

食育推進部会の中から、学校・給食・保育園・地域・行政・生産者・流通

関係の分野ごとに現在行われている食育の事業について話し合いました。2月に予定されている次の会議では、食育推進事業が今年度どのような形で行われたかご報告できる予定です。

また、全体で行われる食育推進事業として食育講演会があります。年に1回、食育推進部会全体で取り組む事業と、各分野ですすめる事業と連携を取りながら、よりよいものにできるようにしていきたいと思えます。

食育講演会では鎌ヶ谷市の食育の取り組みを展示する予定です。前年度の3月19日に予定していたイベントが震災で中止になり、「食育推進計画」の紹介ができなかったため、今回の食育講演会で紹介したいと思っています。また、食生活改善推進員による試食コーナー、食育ゲームなどもやる予定です。その後、健康づくり推進協議会会長よりご挨拶をいただき、トマト料理コンクールの表彰を行います。広報で、市民からトマトレシピを募集しました。学校で応募用紙を配布したところ、小学生からの応募がたくさんあり、全部で29点応募がありました。その中から食育推進部会の委員の投票により、入賞者を選ばせていただきました。投票数が多いほうから、健康づくり推進協議会会長賞、優秀賞2点、ヘルシー賞、その他は入賞ということで、全部で14名を選ばせていただきました。この方々につきましては、企画財政課から、ふるさと産品として、クッキーの詰め合わせを差し上げる予定です。また3月19日に差し上げる予定だった、ふるさと産品150名分を入場者の方に差し上げる予定です。講演は、NPO法人日本食育ランドスケープ協会の理事長である、浮谷王子先生にお願いしています。先生は、野菜ソムリエなどの資格を持ち、市川市在住で近辺の小中学校をまわって、食育に取り組んでいます。

(事務局) 次に鎌ヶ谷市母子保健計画最終評価報告書について報告いたします。

この計画は、平成10年度策定されました「母子保健計画」で平成22年度が目標年度となりまして、取り組みや数値目標について最終的な評価を行いました。この計画は、少子社会を展望した親子の健康づくりを目的に、「安心して子どもを産み育てることができる」、「親と子が元気に育ちあうことができる」、「自分らしく生きる力を育てることができる」という3本の施策を柱として推進してきました。平成15年の見直しの時には、核家族化がより進み、育児に悩む親や育児不安を抱え孤立している親・子への精神的な対応や、将来子どもを産み育てていく子どもたちへの支援等が課題として挙げられ、社会状況や健康課題の変化に応じた計画の見直しを図ったものです。その結果、概ね目標は達成できましたが、「医療」と「虐待防止」に関する施策が課題として残りました。

「医療」に関しましては、適切な医療が受けられるという個別政策の中で、かかりつけ医を持つ子が半数に減少したこと、低体重児、極小未熟児が微増という結果であったことから、達成できなかったと判断いたしました。

た。もうひとつの「虐待防止」につきましては、個別政策の中で、虐待防止対策が充実しているという施策で、虐待相談件数が、策定時に比べ微増となったことがありました。虐待防止は課題であるにも関わらず、十分な効果をあげることができませんでした。

この計画は、鎌ヶ谷市総合基本計画「かまがやレインボープラン21」(平成13年)の3つの基本目標の1つである「健康で生きがいのある福祉・学習都市」を実現するための分野別計画として位置づけられました。またその後、平成14年度策定された「いきいきプラン・健康かまがや21」、平成17年3月に策定された「かまがやこどもサポートプラン(鎌ヶ谷市次世代育成支援行動計)」と連動した計画として取り上げられております。最終年度を迎え、母子保健計画の内容は「いきいきプラン・健康かまがや21」、「かまがやこどもサポートプラン」の中に位置づけられます。残された課題の「医療」は、「いきいきプラン・健康かまがや21」の中で継続される予定です。虐待防止については、重点施策となりました。また、平成23年3月策定の鎌ヶ谷市食育推進計画では、ライフステージごとに目標を定め、健やかな体づくりと、心豊かな食卓を目指すということになりました。以上です。

(会 長) ただ今の件につきましてご意見、ご質問等お願いしたいと思います。

(藤木委員) 鎌ヶ谷市は、医師会、行政、民間のかたのバランスがいいですね。上手くいっているかと思っています。

妊娠中から高齢期まで、継続的に健康づくりをやる。妊娠中、乳幼児期、学童期が壮年期、高齢期より比重が低い。予算もあると思うし、人手も必要だけれども、これから重要なのは、子ども達ですね。40～60歳代の人達に、これから行動変容しろと言っても、非常に厳しいし、エネルギーを使う。子どもの頃、義務教育の時に最大のエネルギーを費やせば、40～60歳代に対して、あまりエネルギーを費やさなくてもよくなる。健康づくりは、義務教育のときに、力や人、お金をかけないと、成果が出ないと感じる。

(課 長) いろんな場面で、健康づくりについての意義があることを承知しています。そういった中で、食では、学童期からの生活習慣病予防の部分で、鎌ヶ谷市は3か年、県のモデル事業に参加しています。教育委員会と連動させていただきながら、推進してきたプロセスがあります。そういった中で、明らかになったことは、家族で食卓を囲んでいたりと、家庭が楽しいという子ども達は、学校も楽しいし、自己評価も高い、とういのが分かったというのが大きな成果だと、計画を策定していく中で分かりました。やはり乳幼児期からの健康づくりが一番ではないかと話はされておりました。ご意見ありがとうございます。

(会 長) ご意見ありがとうございました。それでは、今後も計画に沿って推進していただいでよろしいでしょうか。

(委 員) 異議なし。

(会 長) 異議なしということで、平成23年度の計画及び進捗状況については承認されました。その他ということで事務局何かありますか。

(課 長) お知らせが1件ございます。例年10月に福祉健康フェアが行われておりましたが、今年は3月11日の東日本大震災の影響で中止となりましたことを報告させていただきます。

(会 長) この後の予定はどうなっていますか。

(課 長) この後の予定ですが、次回の会議開催は平成24年2月23日(木)を予定しております。現在の委員におかれましては、8月26日をもって任期終了となります。次回の会議には新委員さんでの開催となります。委員の推薦につきましてよろしくお願ひ申し上げます。

(会 長) それでは、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」が市民の間に定着するよう委員の皆さんが積極的に参画するということで、よろしくお願ひします。

(会 長) 以上、予定された議題の審議は終了いたしました。

(課 長) 有り難うございました。  
これを持ちまして本日の会議を閉会します。

閉 会

◇ 会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成23年7月28日

署名人

藤木 哲郎

署名人

尾崎 隆